

# パスロジ(4426)

## パスロジックのクラウド版、および個人・小規模事業者向けの「X3Secure for RDP」のリリースが成長に貢献へ

TOKYO PRO Market | アプリケーションソフトウェア | 業績フォロー

BLOOMBERG 4426:JP | REUTERS 4426.T

- 2020/6通期は、売上高が前期比41.7%増、営業利益が同66.7%増、経常利益が同96.2%増、当期利益が同85.0%増の増収増益。
- コロナ禍への対応に伴い顧客企業がテレワークの導入・規模拡大を行ったことにより、主力製品であるパスロジックの受注が伸びた。
- パスロジックのクラウド版の提供、およびコロナ禍を契機とした市場拡大に対応して個人や小規模事業者向けの「X3Secure for RDP」のリリースなど時代の変化に即した事業展開が成長に寄与しよう。

### What is the news?

2020/6通期は、売上高が前期比41.7%増の4.26億円、営業利益が同66.7%増の1.65億円、経常利益が同96.2%増の1.74億円、当期利益が同85.0%増の1.10億円。新型コロナウイルス感染症対策として多くの企業がテレワークシステムの導入・規模の拡大を行ったことにより、主力製品であるパスロジックの受注が伸びた。また、期を通じて既存顧客による契約の更新が安定的に推移したことも増収に貢献した。利益面では、投資有価証券売却損の特別損失が発生したものの、主に給与手当や特許関連費用が抑えられたことにより販管費が減少したこと、および当初計画の本社移転を見送ったことなどが増益に寄与した。

同社は新規技術（特許技術）の開発に力を入れている点に特長があり、特許取得件数は2020年6月末時点の累計で98件（うち日本国特許は32件）、2019年が前年比2.7倍の16件、20年1-6月が3件である。また、20年6月末時点のパスロジック方式利用製品の発行ライセンス数の累計は、前年同期比9.4%増の128万件に上った。

### How do we view this?

2021/6通期会社計画は、売上高が前期比11.0%減の3.79億円、営業利益が同38.1%減の1.02億円、経常利益が同41.6%減の1.02億円、当期利益が同38.0%減の6,800万円。主力商品のパスロジックの販売が引き続き中心となる見通し下、既存顧客の保守サポート・年間ライセンス売上の堅調な推移、およびテレワーク需要の継続が見込まれる一方、世界経済減速に伴う企業の設備投資の抑制を想定して減収減益計画としている。

同社は2020年3月よりパスロジックのクラウド版の提供を開始したほか、6月に個人や小規模事業者を対象にしたサービスである「トリプルセキュア・フォー・アールディーピー（X3Secure for RDP）」をリリース。従来のパスロジックが、企業や団体などの業務システム向けが主力だったのに対し、コロナ禍を契機として対象となる市場が拡大している模様だ。また、累計特許取得件数で日本の2倍以上に達する海外向けに、デモサイト構築やプロモーション強化、および新規パートナーの開拓に取り組んでおり、新たなマーケット創出による業績拡大が期待されよう。

### 業績推移

事業年度	2018/6	2019/6	2020/6	2021/6F
売上高(百万円)	234	300	426	379
経常利益(百万円)	50	89	174	102
当期利益(百万円)	31	59	110	68
EPS(円)	31.20	59.63	110.33	68.38
PER(倍)	16.03	8.39	4.53	7.31
BPS(円)	184.61	230.33	297.52	-
PBR(倍)	2.71	2.17	1.68	-
配当(円)	15	25	55	-
配当利回り(%)	3.00	5.00	11.00	-

(※)2018/9/29付で普通株式1株につき100株の株式分割を行ったが、2018/6期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、EPS、BPS、1株あたり配当金を算定している

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

## フィリップ証券株式会社

配当予想(円) - (会社予想)

株価(円) 500 2020/10/27(基準値)

### 会社概要

2000年にワンタイムパスワードの新技术「パスロジック方式」のライセンス供与・管理を目的に設立。本人認証技術の中核とした認証セキュリティソフトウェアの開発、販売を主体とするソフトウェア事業を行っている。

2004年にパスロジック方式を活用した認証サーバソフトウェア製品「PassLogic-AS」の販売を開始。2006年には従来の技術ライセンス供与を中心とする方針を変更し、自社ソフトウェア開発メーカーとして本格的に事業展開することを決定。2007年末には複数の特許技術を活用し、パスロジック方式を2経路で認証することでセキュリティを強化した「PassLogic」の販売を開始した。2014年には大規模ユーザーにも対応可能にした後継製品「PassLogic エンタープライズ版」の販売を開始。2019/6時点、パスロジック方式利用製品の発行ライセンス数は累計117万件に上り、同社の主力製品となっている。

2018/12/19にTOKYO PRO Marketに上場した。

パスロジック方式は、小川秀治代表取締役社長が1997年に考案した「乱数表から抜き出してワンタイムパスワードを生成する」システムであり、同システムは2000年に米国特許を取得。パスロジック方式を製品化した企業・団体向け認証セキュリティソフトウェア「PassLogic」は、ログインのたびに乱数表に記された数字がすべて刷新されるため、シークレットパターン通りに数字を抜き出せばパスワードが毎回新しいものになる仕組みとなっている。

### 企業データ



(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### 主要株主(2020/9/30)

株主名	(%)
1.小川 秀治	66.10
2.小川 美樹子	10.00
3.小川 遥香	9.00
4.小川 穂波	9.00
5.石井 裕一郎	2.15

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

### アナリスト

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘  
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。